



※一般質問の内容は議員自身が9月定例会議事録に基づき記述しています。
QRコードを読み取り、令和2年9月定例会を選択すると一般質問が視聴できます。



さの かずひこ
佐野 和彦 議員
(富岳会)

富士宮市感染症対策

- 問** 感染された方へのアフターフォローは。
- 部長** 市民が陽性者となった場合、それ以降の対応は保健所の措置で行われることから、個人の特定はできない。具体的な困り事があれば、しかるべき窓口で対応する。
- 問** 軽症者と重症者の判断基準はあるのか。
- 病院長** 重症度の区分は、重症、中等症、軽症、無症の4区分となり、軽症は酸素投与が不要、発熱や咳がある患者、無症状でも65才以上の方や基礎疾患がある方は軽症者対応になる。重症は人工呼吸器管理以上の患者となる。
- 問** 指定感染症の二類から五類に下がった時の対応はどうか。
- 部長** 現在、見直しが叫ばれているが最終的にどうなるか分からない。最新の情報に注視し適切に



こんどう ちづる
近藤 千鶴 議員
(令和)

富士川、芝川など1級河川の河川環境について

- 問** 富士川の濁り、濁水、汚泥の原因は。
- 部長** 濁りは豪雨による崩壊土砂流出。濁水は管理者が適正管理しているが、気象条件の影響。
- 問** 日本軽金属の巨大水利権と導水管について。
- 部長** 水利権は国土交通大臣が許可権者。導水管は民間事業者の施設。日本軽金属には地域住民から信頼してもらえよう管理してほしい。
- 問** 静岡県や山梨県に対しての働き掛けは。
- 部長** 県をまたぐ河川のため情報共有は必要。
- 問** 市長から、県知事や早川町に行政の垣根を越えた河川に関する協力をお願いできないか。
- 市長** 市も黙って見てられない。これから国や県等にも働き掛けをしていきたい。
- 問** 芝川の水が流れていない場所について。
- 部長** 季節、水量により堰堤から越流をしていな

対応していく。

- 問** 当市の集団免疫の考え方について伺う。
- 市長** スウェーデンなどの北欧諸国は、自然免疫の施策で失敗している。そうならないように取り組む。
- 問** ここは諸外国ではなく日本であり、医学の見地からも説明できるのではないかと思うが。
- 病院長** 集団免疫という考え方はあるし、ある意味正しい方法だと思うが、県内ではある程度感染がコントロールされている状況だと思う。
- ## 市街化区域と市街化調整区域のセットバックの違いについて
- 問** 市街化調整区域にも、狭あい道路拡幅整備事業の補助対象を広げることができないか。
- 部長** 安全な住宅市街地の形成、災害に強い街づくりのため、道路拡張整備事業は、市街化区域を集中してやっていく。
- 問** 調整区域にも目を向けてもらえないか。
- 部長** 個別の案件は、道路事業でできるかどうか議論していきたいので、相談してほしい。

- い箇所があるのは承知しているが、国の水利使用許可に基づき、事業者が運用管理している。
- 問** 利水者と漁協組合と行政、市民団体など話し合う場を作ることができないか。
- 部長** 市主導による場の提供は考えていない。
- 意見** 1級河川は国・県の管轄、また普通河川は市の管轄などという縦割り行政が、この河川環境の問題解決を遅らせている。

山口組2次団体の富士宮進出について

- 問** その現状、市民の動き、市としての対応は。
- 部長** 議員の暴力団追放の決議に深く敬意を表する。暴力団の目立った動きは見られない。周辺住民からの相談、要望は受けていない。警察等による戸別訪問聞き取りでは、不安や恐怖を感じるという声が多かった。市の対応として警察、県暴力団追放運動推進センター、県弁護士会などの関係機関と連携を密にしながら市民が安心して暮らせるまちづくりに邁進していく。
- 意見** 暴力団排除条例の理念にのっとり、みんなで心を一にして、頑張っ闘いましょう。